

【報告】



ルワンダ共和国オリンピックソリダリティ (OS) トライアスロンコーチ派遣事業の報告



山中良晃

福岡県トライアスロン連合 理事長

《目的》

ルワンダ共和国でのトライアスロンの競技力向上と競技者発掘・育成への協力

派遣期間：2018年9月18日（火）～同28日（金）

1. ルワンダ共和国について

- ・面積：26,338 km²（四国とほぼ同じ）
- ・人口：1,200万人（2016年）
- ・公用語：スワヒリ語、ルワンダ語、英語
- ・主な産業：農業（コーヒー、お茶）

2. ルワンダトライアスロン連盟 (RTF) について

2014年発足。現在、全国に6つのクラブがあり、ITUコーチが直接指導に当たっている。
競技者登録は現在52人。

2018年8月、アフリカカップ（ITUコンチネンタルカップ）を初めて開催した。

3. 実施報告

○ディスカッションおよびワークショップ

- ・ルワンダトライアスロンの現状と課題の把握
- ・課題克服と取り組みの共有および共有方法について（ワークショップ）
- ・日本のスポーツ環境、日本のトライアスロンについて紹介

○コーチとのディスカッション



- ・競技の普及、発展に関して
- ・選手強化について
- ・各クラブの運営に関して

○JICA（国際協力機構）ルワンダ事務所訪問

○在ルワンダ日本国大使館訪問



○オリンピック委員会訪問



○国内クラブの活動を視察



○デュアスロン大会視察



【最後に】

ルワンダトライアスロン連盟は人材、物資、資金が不足している。その中でも大きな夢と希望を持ってトレーニングに励んでいる。

これからも連携を続け、ルワンダのスポーツ振興に寄与していきたい。